

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	認知症施策総合支援事業			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	地域包括ケア推進 課
				評価責任者(課長名)	阿加井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	有
	2	事業開始年度	平成 27 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	厚生労働省老健局長通知「認知症地域医療支援事業の実施について」(平成27年4月15日老発0415第6号) 厚生労働省老健局長通知「認知症介護実践者等養成事業の実施について」(平成18年3月31日老発0331010号) 厚生労働省老健局長通知「認知症施策等総合支援事業の実施について」(平成26年7月9日老発0709第3号)			
	4	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成30(2018)~32(2020)年度)			
5	事業実施の経緯	政令市移行に伴って平成18年度から、厚生労働省老健局長通知に基づき実施 組織改正に伴い、平成27年度から「認知症介護実践研修等事業」「認知症対策等支援事業」「認知症疾患医療センター運営事業」を統合し、当該事業を開始した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか。)	認知症高齢者とその家族等関係者、認知症高齢者等の介護に携わる実務者、認知症介護を提供する事業所の管理者等、 認知症の診療に携わる医師・高齢者が日頃から受診する診療所等の主治医(かかりつけ医) 病院勤務の医師・看護師等の医療従事者、認知症の人と接する機会が多い看護職員 高齢者が受診する歯科医師・高齢者が受診した際や受信後等に接する薬局・薬剤師			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか。)	認知症の方に対する医療及び介護サービスを充実するとともに、認知症の発症初期から状況に応じて、医療と介護が一体となった認知症の方への支援体制の構築を図るため、人材の育成を図ること。			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	認知症の方及びその家族等に対する支援として以下の項目を実施 ・認知症高齢者の介護に関する実践的研修の実施 (認知症介護基礎研修、認知症介護実践者研修、認知症介護実践リーダー研修、小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修、認知症介護指導者養成研修など) ・認知症介護にかかる適切なサービスの提供に関する知識等を習得させるための研修の実施 (認知症対応型サービス事業開設者研修、認知症対応型サービス事業管理者研修) ・医療従事者が認知症ケアについて理解し適切な対応をできるようにするための研修の実施 (認知症サポート医養成研修、病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修、歯科医師認知症対応力向上研修、薬剤師認知症対応力向上研修、看護職員認知症対応力向上研修など) ・認知症疾患医療センターの設置(2か所)			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () (社福)大阪府社会福祉事業団、(公財)浅香山病院、(医)杏和会阪南病院				

Ⅲ. 投入量

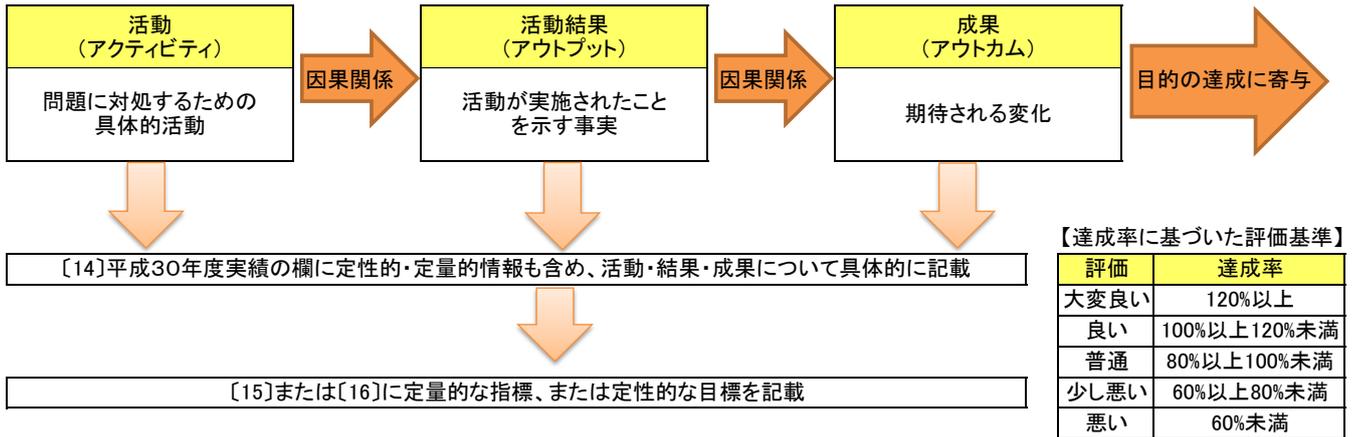
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	28,362	28,064	21,840	21,407	
主な事業費内訳	委託料	千円	15,475	15,869	12,818	10,544
	負担金、補助及び交付金	千円	8,776	8,132	7,745	8,441
	その他	千円	4,111	2,503	1,277	2,422
		千円				
財源内訳	国・府支出金	千円	10,175	11,301	5,427	6,951
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	6,014	5,347	4,667	5,386
	市債	千円				
	その他()	千円				
一般財源	千円	12,173	11,416	11,746	9,070	
12 人件費 (b)	千円	4,440	4,100	4,100	4,080	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	32,802	32,164	25,940	25,487	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	認知症施策総合支援事業	シート番号	11-068
-------	-------------	-------	--------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	<ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者の介護に関する実践的な研修を実施 認知症介護基礎研修 修了者140人 認知症介護実践者研修 修了者120人 認知症介護実践リーダー研修 修了者26人 認知症介護指導者養成研修 修了者1人 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 修了者8人 認知症介護にかかる適切なサービスの提供に関する知識等を得させるための研修を実施 認知症対応型サービス事業開設者研修 修了者1人 認知症対応型サービス事業管理者研修 修了者23人 医療従事者が認知症ケアについて理解し適切な対応をできるようにするための研修を実施 認知症サポート医養成研修 修了者7人 歯科医師認知症対応力向上研修 修了者13人 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修 修了者14人 薬剤師認知症対応力向上研修 修了者18人 看護職員認知症対応力向上研修 修了者24人 市内2箇所の認知症疾患医療センターの運営(2箇所合計) 外来件数12,504件(うち鑑別診断件数1,298件)、入院件数524件、 専門医療相談件数 電話2,424件、面接193件 						
		15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		研修年間修了者数(介護職対象)	人	目標値	415	420	420	420
				実績値	461	418	319	
				達成率	111%	100%	76%	
				評価	良い	良い	少し悪い	
		算出方法・設定根拠など		高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に定められた目標達成のために必要な到達水準を年次で落とし込みしたもの。				
		16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		研修年間修了者数(医療職対象)	人	目標値	195	165	165	165
				実績値	140	119	76	
				達成率	72%	72%	46%	
				評価	少し悪い	少し悪い	悪い	
		算出方法・設定根拠など		高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に定められた目標達成のために必要な到達水準を年次で落とし込みしたもの。				

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
介護職向け・医療職向けの研修とも各職種の業務が多忙な中、これまで研修を実施してきた中で一定の参加者数が集まり、研修修了者の累積人数が増加してきたことも、新たな参加者が目標に達しなかった要因の一つとして考えられる。しかしながら、団塊の世代の高齢化などに伴い、認知症の高齢者が今後益々増加していくことが予測されている中で、認知症の方への支援体制のさらなる強化が求められており、今後より広範に関係機関等に事業を周知することで、目標達成を図っていく。	

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。